



四季の里だより



No.281 2022年9月号

介護老人保健施設『四季の里』

新座市北野2-14-8

TEL 048(482)8008

<https://www.shikinosato.jp/>



8月行事の報告



8月の行事はコロナウイルス感染症の予防対策をとりつつ各フロアで行いました。

2階では盆踊りを行いました。色とりどりの浴衣を着付けし盆踊りの曲を流しお祭り気分になりました。皆さん笑顔が見られ楽しいひと時でした。

3階では花火や各地のお祭りのDVD鑑賞を行いました。花火を観たり、お祭りに参加できない中、映像を通してではありますが、夏の雰囲気を感じて頂けたようです。沖縄出身の入所者様にとってエイサー祭りは懐かしく、又ほかの方にとっては興味深く楽しんで頂けたようです。最後に、お一人お一人に水風船のヨーヨーが配られ夏祭り気分を感じて頂きました。

4階では紙皿に花火を書く飾りづくりと第2回ボウリング大会を行いました。紙皿にそれぞれの個性が出た花火が書きあがり、他の入所者様の作品を見ながら楽しく仕上げる事が出来ました。作品は4階のエレベーターホールに展示しています。

第2回ボウリング大会では前回と同じ10本のペットボトルを何本倒せるかを競いました。みなさん真剣な顔でボールを転がし、楽しく笑いのあるボウリング大会になりました。



《8月 行事食メニュー》

- ・枝豆ごはん
- ・天ぷら盛り合わせ
- ・ワカメと胡瓜の梅酢和え
- ・すまし汁(花魁・そうめん)
- ・さつま芋羊羹

10月のお知らせ

★10月3日(月) デイケア・イベント食

【秋の行楽弁当】

- * 五目ご飯 * 鮭の照り焼き
- * チキンの信田煮
- * ほうれん草のきのこづくし和え
- * さつま芋の茶巾しぼり
- * 柿 * みそ汁(豆腐・みつば)

★10月25日(火) お楽しみ昼食

【ハロウィン】

- * 和風きのこピラフ
- * ハンバーグのクリーム煮
- * 蓮根とひじきのサラダ * 南瓜のプリン
- * コンソメスープ(かぶ・かぶの葉)
- * さつまいもの甘煮

お楽しみに♪



デイケア通信

四季の里の1階エレベーターホールには、いつも季節の生け花が飾られています。一週間に1度、草月流師範で北野病院職員の川手検査技師が新しいお花を生けてくださっています。

デイケアの利用者様は施設に到着されると生け花を見て、『いつもきれいなお花をみせてもらってありがたいわ』『いつもきれいなねえ』『このお花は家の庭にあったわ』と話されながらデイルームに入られています。お昼休みもお花を見たいので見に行きたいかしら等、利用者様たちの癒しになっています。毎週きれいなお花をありがとうございます。

リハビリ室より、こんにちは！

リハビリ科には理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)の3職種が在籍しています。今回は、「言語聴覚士(ST)」についてお伝えします。

「言語聴覚士(ST:Speech Language Hearing Therapist)」は「話す」「聞く」「食べる」ことの専門家です。PTやOTなどのリハビリ専門職と比べて人数が少ないため、あまり出会う機会がないかもしれません。四季の里では、老健入所、通所リハビリ、訪問リハビリの3部門でSTのリハビリを受けることができます。STが対象とするのは小児から高齢者まで様々ですが、四季の里では高齢者の方を中心にリハビリを行っています。コミュニケーションの障害である失語症や発声・構音障害、食べること飲み込むことの障害である嚥下障害などに対してリハビリを行っています。著明人にもSTのリハビリを受けたことを公表されている方がいます。脳梗塞で失語症が残存した長嶋茂雄さんは、かなり重い症状だったそうですがリハビリを継続し公でスピーチが行えるほどになっています。

また、同じ脳梗塞による麻痺で構音障害が残存した西城秀樹さんは、リハビリを受けコンサート復帰を果たされました。口腔がんのため舌を切除し構音障害・嚥下障害が残存した堀ちえみさんは、退院後もリハビリを継続していることをブログで綴っています。こども番組のキャラクター「ニャンちゅう」の声優である津久井教生さんはALS(筋萎縮性側索硬化症)の闘病中であり、STのリハビリを受け寝たきりでありながらも声優の仕事の継続しています。今後、STはどのような症状の方に対して、どのような物を使い、どのようなリハビリを行っているのか、1つ1つ詳しくご紹介していきたいと思っております。



彼岸花の不思議

最近男性入所者様に「彼岸花は咲いている？」と尋ねられる事があります。通勤の行き帰りに通る空き地の原っぱに彼岸花が咲き始めると、暑さのピークが過ぎる頃かなと感じると共に、花が咲かない時期には雑草に埋もれ、その存在に全く気付かず、突然の開花に驚かされます。それもそのはず、彼岸花は他の植物とは逆で、花を咲かせ、その花が枯れた後に葉が成長します。花と葉を一緒に見られない事から「葉見ず花見ず」と言われているそうです。

彼岸花の名前は、お彼岸の時期に突然真っすぐ茎を伸ばして、直径10cm前後の赤色の花が開花する事に由来しています。別名「曼珠沙華」はサンスクリット語で「天界に咲く花」を意味します。おめでたい事が起こる兆しに、赤い花が天から降ってくるという仏教の経典から付いた名前です。毎年見頃の秋になると、墓地や田んぼの畦道等に咲いているのを目にしますが、日本では彼岸花は人為的に植えられたようです。彼岸花の球根には毒がある為、墓地や田んぼを荒らすモグラやネズミから農作物やご先祖様を守る為、彼岸花の毒性を利用したそうです。今年も彼岸花が咲いたら、秋の訪れを男性入所者様に報告したいと思っております。

ご相談ください

介護老人保健施設「四季の里」は、看護や介護を必要とする方が、できるだけ早く自立した生活ができるようお手伝いをする施設です。比較的病状の安定している方に、看護や介護をはじめリハビリテーション、日常生活動作訓練など1日も早い家庭復帰を目指す各種サービスを提供します。

- * 入所 * 短期入所
- * 通所リハビリテーション
- * 訪問リハビリテーション

日常生活の中でご不安をお持ちの方、お困りのことがありましたらご相談ください。

TEL 048-482-8008 四季の里